様式第６号（第７条関係）

旧耐震基準の木造住宅の除却における容易な耐震診断調査票

調査日時：　　年　　月　　日　午前・午後　　時

調査者氏名：

Ⅰ）　建築物の概要

１　建築物の所有者：

２　建築物所在地：倉吉市

３　階数：　　　　階

Ⅱ）　前提条件の確認（いずれも必須）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 チェック欄

|  |  |
| --- | --- |
| 木造住宅である |  |
| 昭和56年５月31日以前に新築の工事に着手した |  |

Ⅲ）　一見して倒壊の危険性があると判断できる項目（１以上ある場合は倒壊の危険性があると判断）

チェック欄

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 建物全体 | 全体又は一部に崩壊がある |  |
| 全体又は一部に傾斜や変形がある |  |
| 地盤・基礎 | 地盤沈下が生じている |  |
| 基礎がコンクリート以外（玉石、石積み、ブロック等）である |  |
| 基礎がコンクリートであり、ひび割れや欠損が見られる |  |
| 老朽・腐朽 | 柱、梁、壁、土台等の構造部に白蟻の被害がある |  |
| 柱、梁、壁、土台等の構造部に腐朽が見られる |  |
| 柱、梁、壁、土台等の構造部に損傷や欠損が見られる |  |

Ⅳ）　壁の割合

一見して倒壊の危険性があると判断できない場合でも、壁の割合が0.8未満である場合は、倒壊の危険性があると判断できるものとする（別紙１及び２を添付）。

　　　　　　　　（イ）　　　　　　（ロ）　　　　　（ハ）　　　　（二）　　 （ホ）壁の割合

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 方向 | 壁の長さ（ｍ） | 建面（㎡） | イ／ロ | 必要値 | ハ／ニ |
| Ｘ |  |  |  |  |  |
| Ｙ |  |  |  |  |  |

（別紙１）

Ⅳ）壁の割合 記入用紙

壁の長さの計測



（別紙２）

（イ）　壁の長さの合計

①　Ｘ（横）方向　　　　　　　　　②　Ｙ（縦）方向

①

②

　　　　　　　　　　　　　　　ｍ　　　　　　　　　　　　　　　　ｍ

①②のうち**小さいほう**を記入してください。

イ

 ｍ

　（ロ）　面積

ロ

 ㎡

（ハ）　単位面積あたりの壁の長さ

イ

ロ

ハ

÷

＝

（ニ）　必要な壁の長さ

ニ

　ｍ

下の表から該当するものを選んで記入してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 階数屋根の種類 | 平　家 | ２階建 |
| 軽い屋根（鉄板葺・石綿板葺・スレート葺等） | 0.20 | 0.52 |
| 重い屋根（かや葺・瓦葺等） | 0.27 | 0.59 |

（ホ）　壁の割合

ハ

ニ

ホ

÷

＝

Ⅴ）　添付書類

　写真等（建物の全景及び倒壊の危険性があると判断される箇所）